



平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 物語コーポレーション

コード番号 3097 URL <http://www.monogatari.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO・COO (氏名) 加治 幸夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO・執行役員副社長 (氏名) 高津 徹也

TEL 0532-63-8001

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	10,542	10.9	504	△27.0	586	△25.1	387	29.4
28年6月期第1四半期	9,501	18.6	692	29.1	782	20.8	299	△19.8

(注) 包括利益 29年6月期第1四半期 390百万円 (27.0%) 28年6月期第1四半期 307百万円 (△17.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	64.57	64.33
28年6月期第1四半期	49.94	49.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第1四半期	22,776	11,831	51.8	1,966.10
28年6月期	22,618	11,615	51.2	1,931.12

(参考) 自己資本 29年6月期第1四半期 11,803百万円 28年6月期 11,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	25.00	—	30.00	55.00
29年6月期	—	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,463	19.8	1,236	9.0	1,414	9.4	851	41.7	141.78
通期	46,779	20.6	3,045	25.4	3,400	29.7	2,049	49.3	341.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結結果計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期1Q	6,004,182 株	28年6月期	6,004,182 株
29年6月期1Q	822 株	28年6月期	822 株
29年6月期1Q	6,003,360 株	28年6月期1Q	5,996,207 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、英国のEU離脱、マイナス金利導入等による不安定な株価や円高進行により企業収益の後退がみられ、引き続き景気の足踏み状態が続きました。

外食業界におきましては、根強い節約志向から消費動向が滞っていることに加え、原材料費や人件費といった主要コストが高止まりしており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、郊外ロードサイドの好立地への積極的な出店を進めるとともに、既存店舗のリニューアル、新メニュー開発や期間限定商品の投入に加えて、商品の品質とサービスレベルの向上、販売促進活動など店舗の収益拡大に向けた施策により、各業態の開発、改善に努めて参りました。また、更なる業態の開発力や改善力の向上を図るため、東京本部（東京フォーラムオフィス）にテストキッチン（東京フォーラムキッチン）を開設しました。

以上の結果により、当第1四半期連結累計期間の業績は、新規出店に伴う店舗数増加により売上高は10,542,520千円（前年同期比10.9%増）の増収となりましたが、前年同期を上回る積極的な出店に伴う開業経費増加と第2四半期以降に出店する開業経費を先行して使用したこと、並びに業容拡大に伴う本社経費等の増加により、営業利益504,955千円（前年同期比27.0%減）、経常利益586,318千円（前年同期比25.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は387,653千円（前年同期比29.4%増）となりました。

また、当第1四半期連結会計期間末における当社グループ店舗数は380店舗（直営店〔国内〕198店舗、フランチャイズ店〔国内〕177店舗、海外5店舗）となりました（後掲表1）。

なお、当社グループにおいては、単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間における各部門の取り組み状況は、以下のとおりであります。

前連結会計年度まで「専門店部門」に含めておりました「寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵」は、売上高の増加等により重要性が増したため、「ゆず庵部門」へ変更しております。前年同期比については、変更後の部門に組替えた数値で比較しております。

①焼肉部門

「焼肉きんぐ」では、当第1四半期連結累計期間中に6店舗の出店（直営店6店）を実施しました。これによる、焼肉部門の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は182店舗（直営店113店、フランチャイズ店69店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は5,889,933千円（前期比3.7%増）となりました。

②ラーメン部門

「丸源ラーメン」では、当第1四半期連結累計期間中に1店舗の出店（フランチャイズ店1店）を実施しました。これによるラーメン部門の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は113店舗（直営店34店、フランチャイズ店79店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高1,252,542千円（前期比4.5%増）となりました。

③お好み焼部門

お好み焼部門の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は43店舗（直営店21店、フランチャイズ店22店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は645,525千円（前期比1.5%増）となりました。

④ゆず庵部門

「寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵」では、当第1四半期連結累計期間中に3店舗の出店（直営店2店、フランチャイズ店1店）を実施しました。これによるゆず庵部門の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は33店舗（直営店26店、フランチャイズ店7店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は1,429,349千円（前期比59.7%増）となりました。

⑤専門店部門

「しゃぶしゃぶ海鮮源氏総本店 南越谷店」の店舗内外装の改装を行っております。

専門店部門の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は4店舗（直営店4店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は200,040千円（前年同期比62.1%増）となりました。

⑥フランチャイズ部門

主にフランチャイズ加盟店舗からの売上ロイヤルティ・加盟金・業務受託料等であります。当第1四半期連結累計期間中にフランチャイズ店2店舗の出店を実施しました。当第1四半期連結会計期間末のフランチャイズ店舗数は177店舗となりました。

以上の結果により、売上高は817,229千円（前年同期比11.3%増）となりました。

⑦その他部門

主に連結子会社である物語（上海）企業管理有限公司による取組みであります。既存店舗の新業態への転換を1店舗行いました。

以上の結果により、売上高は307,900千円（前年同期比28.7%増）となりました。

表1 「部門別店舗数の状況」

(単位：店)

	直営（国内）	F C（国内）	海外	平成28年9月末 店舗数
焼肉部門	113	69	-	182
ラーメン部門	34	79	-	113
お好み焼部門	21	22	-	43
ゆず庵部門	26	7	-	33
専門店部門	4	-	-	4
その他部門	-	-	5	5
合計	198	177	5	380

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は22,776,112千円となり、前連結会計年度末と比較して157,740千円の増加となりました。これは主に現金及び預金が1,076,024千円減少した一方、売掛金が84,529千円増加したこと、設備投資により有形固定資産が847,658千円増加したこと、新規出店用地の契約により差入保証金が93,329千円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は10,944,773千円となり、前連結会計年度末と比較して58,030千円の減少となりました。これは主に買掛金が165,615千円増加した一方、長期借入金が213,040千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は11,831,339千円となり、前連結会計年度末と比較して215,771千円の増加となりました。これは主に利益剰余金が207,552千円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は51.8%（前連結会計年度末は51.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成28年8月12日に公表いたしました内容に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,434,758	4,358,733
売掛金	597,066	681,596
商品及び製品	202,766	238,774
原材料及び貯蔵品	64,439	67,106
その他	739,606	897,275
貸倒引当金	△175	△208
流動資産合計	7,038,461	6,243,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,628,920	10,310,001
その他(純額)	2,308,331	2,474,909
有形固定資産合計	11,937,251	12,784,910
無形固定資産		
	237,443	249,136
投資その他の資産		
差入保証金	2,943,969	3,037,299
その他	461,245	461,490
投資その他の資産合計	3,405,215	3,498,789
固定資産合計	15,579,910	16,532,835
資産合計	22,618,372	22,776,112
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,203,934	1,369,549
未払法人税等	513,954	241,261
賞与引当金	—	176,638
株主優待引当金	19,383	31,972
その他	3,462,771	3,510,186
流動負債合計	5,200,043	5,329,608
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	3,227,807	3,014,767
退職給付に係る負債	234,070	231,560
資産除去債務	244,612	260,541
その他	1,096,270	1,108,295
固定負債合計	5,802,759	5,615,164
負債合計	11,002,803	10,944,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,703,991	2,703,991
資本剰余金	2,576,842	2,576,842
利益剰余金	6,295,654	6,503,206
自己株式	△1,293	△1,293
株主資本合計	11,575,195	11,782,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	882	1,242
為替換算調整勘定	9,946	13,052
退職給付に係る調整累計額	7,202	6,196
その他の包括利益累計額合計	18,032	20,491
新株予約権	22,340	28,100
純資産合計	11,615,568	11,831,339
負債純資産合計	22,618,372	22,776,112

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,501,553	10,542,520
売上原価	3,233,517	3,562,227
売上総利益	6,268,036	6,980,292
販売費及び一般管理費	5,575,788	6,475,336
営業利益	692,248	504,955
営業外収益		
受取利息	4,175	4,737
受取配当金	67	81
協賛金収入	91,768	97,641
その他	32,285	8,546
営業外収益合計	128,297	111,006
営業外費用		
支払利息	7,046	7,586
為替差損	26,704	16,958
その他	3,860	5,098
営業外費用合計	37,611	29,643
経常利益	782,934	586,318
特別損失		
固定資産除却損	30,338	11,376
減損損失	65,089	—
店舗閉鎖損失	59,552	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	28,622	—
役員退職慰労金	54,405	—
特別損失合計	238,008	11,376
税金等調整前四半期純利益	544,926	574,941
法人税等	245,496	187,288
四半期純利益	299,430	387,653
親会社株主に帰属する四半期純利益	299,430	387,653

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	299,430	387,653
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△789	359
為替換算調整勘定	8,618	3,105
退職給付に係る調整額	△252	△1,006
その他の包括利益合計	7,576	2,459
四半期包括利益	307,006	390,112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	307,006	390,112

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は飲食店事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。